**タイトル:**

**[コラム]Google I/O 2019 レポート**

**始めに**

2019年5月8日（水）、５月9日（木）の二日間、Google社が開催する年次開発者向け会議:Google I/O 2019が開催されました。今年度は｢みんなにとって便利なGoogle｣をテーマにしており、ユーザ目線での「使いやすさ」にフォーカスした内容となりました。  
今回はそんなGoogle I/Oで紹介された幾つかの新機能をピックアップして紹介致します。

**革新的進化を遂げたAI「Google アシスタント」**

Googleアシスタントとは、会話型のAI機能のことで、Android端末を中心に様々な場面で活用されております。Googleアシスタントは、かつて100GB程を占めており、クライアント-サーバ間の通信が必須でした。しかし、今回の発表ではたった0.5GB（約500MB）に軽量化したと述べています。  
　結果として、各端末はローカル毎に判断、即時返答が行えるようになり、よりユーザとのインタラクティブが高速に行えるようになりました。

**Google アシスタントがもたらしたユーザビリティ**

* **Duplexのウェブ対応でカンタン予約**

Duplexとは、昨年のGoogle I/Oで発表された、Googleアシスタントによる代理電話予約機能です。今回はそのDuplexがWeb予約に対応できるようになりました。

例えば「旅行のためにレンタカーを予約して」と伝えると、カレンダーから飛行機の到着日時、場所を見つけ出し、近くのレンタカーを予約する画面を表示してくれます。  
程度はAIが判断し、自動で入力をしてくれる他、おすすめの車種のレコメンドなどをしてくれます。あとは承認ボタンを押すだけで予約ができてしまいます。

* **画像とARでの便利な検索**  
  例えば、旅先のレストランで写真のないメニューがあったとき、Googleアシスタント機能の一つである「Googleレンズ」を活用しましょう。これは、テキストを読み取ったのち、ネット上で該当する写真を表示してくれます  
  （ここにGIFを載せる）
* **ドライブにもGoogleを**Googleアシスタントに「Driving Mode」が追加され、運転用にUIが一新されました。AI自身がユーザ操作を予想し表示することや、操作を音声だけで完結させることができるそうです。

**Android 10 Q の登場**

Google I/O にて、Android新バージョンである「Android 10 Q」が発表されました。

A